



# 希望が持てる政策期待

## 少数与党 議論混迷を懸念

### 第2次石破内閣発足 県民の声

首相指名選挙で石破茂氏が再び選出され、県民からは「国民目線に立ち、生活を良くしてくれる政治をしてほしい」と要望が聞かれた。少数与党のまま政権運営を本格スタートする石破内閣に対し、「政治の安定は望むが、難しい状況が続きそう」との声もあった。

衆院で自民、公明両党の議席は過半数を割り込んでおり、他党の党首が首相に

は地方をちゃんと見くれないような印象がある。安心しな。梓葉市社長の会社員高山和也さん(48)は、野党はまとまることはないと思っていたので、驚きはないと受け止めた。

農業井上誠一さん(69)は「石破さんは自民党内でリベラルな印象があったが、今はどんな人がよく分らない。政権に期待感はない」と冷めた見方を示した。今後は予算案や法案の成立に与野党で調整が必要となる。豊後高田市上善々地の主婦橋本由美さん(70)は「政策の議論が本心に国民の目で見える形で進むのか、落としどころが見つかるのか不安」と国会運営の

混迷を心配した。国民の暮らしに直結した政策の実行を望む声は多い。大分市中島西の会社員佐々木陽一郎さん(39)は「今より賃金が改善してほしい。手取りが増えるような施策を期待したい」。大分市判田の大学生隈元聖嗣さん(20)は「何かを頑張らなくては経済的に詰まってしまう学生がいる。奨学金の充実を含めて教育にもう少し予算を割いてほしい」と願った。

国民民主党も大幅な議席増で動向が目玉される。県連の福岡智幸代表(県議)は「野党間わず全ての党と対等の姿勢で臨む。党利党略に走らず国民生活のために動く」。三浦田紀幹事長(県議)は「石破政権への国民の期待は高い。政策ごとに是非を判断すべきだ。共産党県委員会の山下魁書記長は「主その党が国民の願いをかなえる政治ができるかが重要になる」と話した。

は「野党間わず全ての党と対等の姿勢で臨む。党利党略に走らず国民生活のために動く」。三浦田紀幹事長(県議)は「石破政権への国民の期待は高い。政策ごとに是非を判断すべきだ。共産党県委員会の山下魁書記長は「主その党が国民の願いをかなえる政治ができるかが重要になる」と話した。

### 県関係議員ら

## 与党、合意形成へ「対話」

## 野党「好機」責任も実感

第2次石破内閣は11日、少数与党として船出した。国政が前に進むにくい状況となり、県関係の衆院議員や政党関係者は与野党を問わず、対話を重視する大切さを強調した。

自民党の岩屋毅氏(衆院大分3区)は引き続き外相を担う。「少数与党は民意、対話と協調」(コセンサス

を築く」と述べ、謙虚で丁寧な政権運営を心がけるという。無所属で衆院自民党会派入りした広瀬健氏(大分2区)は首相指名選挙で石破茂氏に投票した。「政治不信が渦巻く中、反省と具体的な正策を示さなければ」と迅速な対応を訴える。

公明党県本部の戸高賢史代表(県議)は「国民は物価高などに苦しんでいる。しっかりと合意形成を図り政策を実現させてほしい」。

課題は山積しており、野党の責任も一段と増す。立憲民主党の吉川元氏(衆院比例九州)は「私たちの力量も問われる。決め



〔問①〕 第2次石破政権は、自民・公明党の連立政権が少数与党となります。少数与党とは？

〔問②〕 今回の衆院選では、自民党が大きく議席を減らしました。なぜですか。

〔問③〕 これからの政治はどうあるべきだと考えますか。